

関係各位

山口市長 渡辺 純忠

## 第25回中原中也賞の発表

受賞詩集	うつく 美しいからだよ					
著者名	みずさわ 水沢 なお					
出版社	株式会社思潮社	刊行年月日 2019年11月30日				
著者の住所	東京都			出身地 静岡県駿東郡長泉町		
年齢	24歳	生年月日	平成7(1995)年12月3日			
性別	女	職業	会社員	最終学歴	武蔵野美術大学 造形学部	
<p>《コメント》</p> <p>高校生の頃、国語の授業が楽しみだった。 白毛まじりで背の高い国語教師のことを好んでいた。 かれは「世の中で一番美しいのは詩です」といった。</p> <p>大学生になり、詩作をはじめました。 それが正しいのか、言葉で確かめるように、地層を掘り起こすようにしてうまれたのが「美しいからだよ」という詩集です。</p> <p>わたしは美しいものが好きです。 詩のことを美しいと思います。 これからもひたむきに、詩と向き合っていきたいと思います。 この度は本当にありがとうございました。</p>						
<p>《選考経過》</p> <p>公募、推薦の詩集224点について本年1月に開催された推薦会の検討の結果、海老名<sup>えびな</sup>名<sup>な</sup>純<sup>あや</sup>『声<sup>こゑ</sup>を差<sup>さ</sup>し出す』、神山<sup>かみやま</sup>紗<sup>さら</sup>良<sup>ら</sup>『透<sup>とう</sup>明<sup>めい</sup>な<sup>と</sup>砦<sup>とりで</sup>』、白鳥<sup>しらとり</sup>央<sup>ひさ</sup>堂<sup>たか</sup>『想<sup>そう</sup>像<sup>ぞう</sup>星<sup>せい</sup>座<sup>ざ</sup>群<sup>ぐん</sup>』、タケイ・リエ『The inland sea』、長谷部<sup>はせべ</sup>裕<sup>ゆう</sup>嗣<sup>し</sup>『箱<sup>はこ</sup>の中<sup>なか</sup>の森<sup>もり</sup>』、彦坂<sup>ひこさか</sup>美<sup>み</sup>喜<sup>き</sup>子<sup>こ</sup>『子<sup>し</sup>実<sup>じつ</sup>体<sup>たい</sup>日<sup>に</sup>記<sup>き</sup>』、水沢<sup>みずさわ</sup>なお『美<sup>うつく</sup>しいからだよ』の7冊が選ばれ、本日の選考会の対象とされた。</p> <p>最終的な討議のなかで、長谷部裕嗣『箱の中の森』と水沢なお『美しいからだよ』の2冊が残された。長谷部裕嗣の詩集は、冒頭に「箱の中の森」、末尾に「森の中の箱」と題する詩篇を置き、社会の片隅に置かれたさまざまな労働の姿を、「箱」のなかの迷宮のように描いている。言葉がリアルに響いてきて、「労働の歌」と言ってもよい。働くことの徒労感はあるが、絶望感のない「歌」であるところが目新しい。物語の語り方がうまく、自己表現の厭味がないところに好感が持たれた。</p> <p>水沢なおの詩集は、かぎりなく小説に近い物語が描かれている。会話体で詩句が進み、そのなかで自分の薄い存在感を際立たせてくる。これは現在の日本の社会を描くのに、最も効果的な手法であったらう。それと同時に、「私を戦わせて／私を戦わせて／私を戦わせて／私を戦わせて」と連呼する佳作「私を戦わせて」があり、薄い存在感がどのようにこの社会を生きていくのか、読者に勇気を与えてくれる作品もある。</p> <p>わたしたちは現在、物語と詩との接点、その境界の見極めが難しい時代に生きている。選考会ではそ</p>						

## 報道資料②

のことが話題になり、ポエジーの行方を見定める上で、長谷部作品と水沢作品の二つの可能性が討論された。水沢なお『美しいからだよ』が持つ未完成性と、作者が未来をつつこうとしているその可能性に賭けることにした。

選考委員：<sup>あらかわようじ</sup>荒川洋治、<sup>いさかようこ</sup>井坂洋子、<sup>ささきみきろう</sup>佐々木幹郎、<sup>たかはしげんいちろう</sup>高橋源一郎、<sup>はちかいみみ</sup>蜂飼耳（50音順・敬称略）

### 《山口市長コメント》

第25回中原中也賞が、水沢 なおさんの詩集『美しいからだよ』に決定しましたことを、心から御祝い申し上げます。

この度受賞されました水沢 なおさんが、今回の受賞を契機に尚一層、活躍の場を広げられ、さらなる飛躍をされますようを心から御期待申しあげます。今後とも多くの方々が、中原中也賞をひとつの目標として創作活動に励んでいただければ幸いです。

令和2年2月8日 山口市長 渡辺 純忠

※受賞者の年齢は、2020.02.08 現在